

平成16年度市場モニタリングテスト結果

機構の技術支援のもとで 「消費生活センターが実施した試買テスト」

(独立行政法人製品評価技術基盤機構)

独立行政法人製品評価技術基盤機構では、製品の安全性及び品質を把握するとともに、消費生活センターのテスト技術向上に資するため、テスト技術等について当機構の支援のもとで消費生活センターが商品テストを実施する制度(「消費生活センターテスト支援」)を設けています。

この制度により、平成16年度に実施したテーマ及び消費生活センターは次のとおりです。

なお、テスト結果の詳細については各消費生活センターのホームページをご覧ください、または各消費生活センターにお問い合わせください。

加湿器

<宮城県消費生活センター>

最近、健康管理等のため一般家庭に加湿器が普及していますが、加湿方式として、ハイブリッド式(ヒータ加熱と送風気化の併用)、スチームファン式(ヒータ加熱でファン付き)、スチーム式(ヒータ加熱でファン無し)、ヒータレスファン式(送風気化)などがあり、多様な製品が販売されています。そこで、これら各種タイプの加湿器を試買し、消費電力、加湿量、騒音等の品質性能や、蒸気吹出口の温度、異常時の安全装置機能、転倒安定性等の安全性についてテストを行い、併せてモニターによる使用テストや、消費者アンケートによる使用実態等の調査も行いました。

テストの結果、ヒータレスファン式がスチーム式に比べ消費電力が少なく、ハイブリッド式がその中間であったなどの結果が出ています。これらのテスト結果から、消費者が商品を購入したり、安全に使用するために必要な情報を整理しました。

羽毛を中わたに使った衣料品(ダウンジャケット)

<富山県消費生活センター>

ダウンジャケット(羽毛(ダウンとフェザー)を中わたに使ったジャケット)は、軽くて保温性のよい防寒衣料品として多種販売されています。衣料品の中わた(綿、羽毛等)の表示は家庭用品品質表示法で義務付けられておらず任意表示となっていますが、ダウンジャケットの中わた(羽毛)の組成は、商品の品質を判断する重要な要素の1つと考えられます。また、富山県消費生活センターにダウンジャケットの中わた(羽毛)の組成表示が実際と異なる商品があったという情報も入っています。そこで、ダウンジャケットを試買し、生地組成、中わた

(羽毛)の組成、中袋の構造(羽毛の吹出しに関係する。)等についてテストを行いました。

テストの結果、生地を表示(家庭用品品質表示法に基づく表示)は全銘柄問題ありませんでしたが、中わた(羽毛)の組成表示では、ダウンとフェザーの混用割合の表示が不正確なものが8銘柄中4銘柄ありました。このテスト結果を当機構から経済産業省に報告したところ、同省は当該事業者に対し、ダウンジャケットにおける中わたの混用率は重要であることから適正な表示を行うよう注意を行いました。

炊飯器の安全でかしこい使い方について

<京都府消費生活科学センター>

炊飯器は、ヒータで加熱する従来のもののほか、IH式のものが多い販売されていますが、最近、これらに、加圧、超音波、スチーム等の機能を付加するなど、種々の差別化された製品が販売されています。そこで、これら各種炊飯器を試買し、消費電力、モニターによる食味テスト等の品質性能や、蒸気吹出口の温度等の安全性についてテストを行い、併せて、消費者アンケートにより炊飯器の使用実態、製品への不満点等の調査も行いました。

テストの結果、保温を7～8時間行くと炊飯時と同等又はそれ以上の電力が必要であったなどの結果が出ています。これらのテスト結果から、消費者が商品を購入したり、安全に使用するために必要な情報を整理しました。

スチームクリーナー

<福岡市消費生活センター>

スチームクリーナーは、テレビショッピングや通販などで、自動車や台所の頑固な油污れや、衣服の染み抜きなどに効果があると宣伝されていますが、期待していたよりも実際の性能に不満を感じたり、高温のスチームを使用することにより火傷などが心配されます。そこで、各種のスチームクリーナーを試買し、汚れの落ち具合、使い勝手等についてのモニターテストや噴霧可能時間等の品質性能、人が触れる部分の温度等の安全性についてテストを行い、併せて消費者アンケートにより使用実態、危害経験等の調査を行いました。

テストの結果、水補給等でボイラーの蓋を開ける時は十分冷却してから行う必要があるなどの結果が出ています。これらのテスト結果から、消費者が商品を購入したり、安全に使用するために必要な情報を整理しました。